

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp

記帳会

【日時】
6月17日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

「民商に入っていてよかった」

持続化給付金・感染防止協力金

次々と支給が決定

緊急事態宣言は解除されましたが、依然としてコロナ不況が大きく広がり、中小業者の困難が続いています。この間、奈良民商が開催している持続化給付金、感染症拡大防止協力金の書き込み会に105人が参加。33人に持続化給付金、2人に協力金の支給が次々と決定しました。5月27日現在、また、会外からの税金の申告と併せて給付金を申請したいなどの相談に応える中、3人を会員の仲間に迎えています。

奈良民商は引き続き6月1〜5日、午後1時半〜3時、3時半〜5時、予約制で書き込み会を開催します。参加を希望される方は前日までにお電話下さい。コロナ対策はどんなことでも民商にご相談下さい。困っている業者をご紹介下さい。



「今、何が必要か学べるのが民商の魅力。多くの飲食の仲間民商を知らせたい」と話す松石圭さん。

給付金で一息つける

民商は本当に心強い

居酒屋「おかげ」を営む松石圭さん（済美支部）は、開店5年目を迎えました。昨年には2階を改装し座敷を新設し、順調に売上を伸ばしてきました。

ところがコロナ不況の直撃で、売上は3月に2割、4月には5割も激減。3月から民商に通い支援を受けた松石さんは、政策金融公庫の特別貸付や持続化給付金、感染症拡大防止協力金などを次々と獲得しました。

松石さんは、まだまだ大変

な状況は続くけど、とりあえず一息つける。民商に入っていて本当によかった。本当に心強い」と話しています。

民商ニュースが励みに 給付金活用してがんばる

25日付の奈良民商ニュースの中西めぐみさんの記事を見て、がんばってはるんや。励まされました」と話すのは、岸上和成さん（佐保支部）です。イカ焼きをメインに、斑鳩名物の竜田揚げ、チーズドッグ、チーズスティックなどを、イベントなどに出演して販売しています。



にぎわいが戻りつつある「ミ・ナーラ」で、少し表情が和む岸上さん。右は営業車です。



コロナの影響で日頃出店していた大学が休校に。民商で申請して持続化給付金が入金されました。5月24日、弁当で出店している中西さんと同じ、ショッピングセンター「ミ・ナーラ」（二条大路南）で元気に営業。不安もあるけれど、給付金も活用して、何とかがんばりたい」と明るく話していました。

地域に根ざして40年

美濃田食堂

美濃田秀夫さん 松子さん



お店の前で、美濃田秀夫さんと妻の松子さん

1980年に開業
働く人々に親しまれる

美濃田秀夫さん、松子さん（南支部）は、1980年、北之庄西町で「美濃田食堂」を開業しました。以来40年、大衆食堂として、地域の中業者、会社や工場で働く人たちに親しまれてきました。

いわゆる「二膳めし屋」で、陳列棚におかずが並び、お客さんが好きなおかずを選ぶスタイルです。

松子さんの母、シゲ子さんが食堂をしていたことが開業のきっかけに。当初、シゲ子さんに教わりながら松子さんが4〜5人の従業員と一緒に盛り上げていました。次第に工場の残業の夜食などの出前が増え、土木工事の仕事を辞めて、秀夫さんも働くことになりました。毎日が残業だった」と松子さんは当時の忙しさを振り返ります。

民商に入会して38年
支部役員として奮闘

1990年までは、出前があったけど、今はゼロやね」と話す秀夫さん。昔は、近所で会社を経営している人など、常連さんばかりだった。今は工事関係の一見さんばかりやなあ。民商に入会したのは常連さんに教えてもらったから。みんな民

水玉模様のマスクできたよ！



田中啓之さん＝電気工事＝は（大安寺支部）、妻の邦子さんが作った手作り布マスクを届けてくれました。3月に「マスク不足の役に立てれば」と届けてもらって以来、2回目です。啓之さんは「ピンクの水玉模様のマスクを」とリクエストして作ってもらったそうです。



秀夫さんは『ごろごろ水』倉庫に保管しています。

南支部役員になり、お店で支部役員会、班会を開催するなど、奮闘してきました。

水にこだわりの

「ごろごろ水」が評判に

9年前から、こだわっているのは水。知り合いから「体によい」と教えてもらった「ごろごろ水」をお店で使っています。

一月半に一度、片道2時間かけて天川村まで汲みに行き、1回で400リットルほど持ち帰ります。「ごろごろ水」で炊いたご飯は、味がまるやかで、全然違う」と評判です。

秀夫さんは、体が続く限り、お客さんに喜んでもらえようがんばりたい」と話しています。